



たいぎ 議会だより

No.196

2024
令和6年
4月発行

予算審査特別委員会

令和6年度予算を徹底審議 ……………P4～5

一般質問

6名の議員が8項目を問う ……………P6～9

「自然災害等防災対策の強化について」「大樹高校公営塾の必要性について」など

「雪の妖精」の愛称で親しまれるシラエナガ。つばらな瞳のかわいらしい姿が、大樹町石坂地区で撮影されました。気温が上がリ雪解けが始まる時期となり、小鳥たちは春の準備を始めたようです。
【写真提供】地域おこし協力隊 牛島 寛尊 さん

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

別委員会での議論を経て 度当初予算を可決

当初予算や補正予算、
条例の制定など
35件を審議!!

一般会計予算 **5億1,788万3,000円**を追加補正

〔主なもの〕

社会資本整備総合交付金等を活用

交通安全対策補助金等を活用

美成7号支線に避難路整備

町道改良舗装事業

美成7号支線の避難路整備に伴う用地取得費と道路調査設計業務費を増額補正。



幸橋に歩道橋新設

町道改良舗装事業

幸橋に歩道橋を新設するための実施設計業務費を増額補正。



サクラマスの養殖を支援

大樹町漁業振興事業

大樹漁業協同組合が導入する養殖施設に対するふるさと納税（サクラマス養殖施設整備プロジェクト）を募集したところ、寄附額が当初の予定額を上回ったため、補助金を増額補正。



起業経費の一部を補助

起業家等支援事業

新規申請が見込まれるため、増額補正。

事業の概要

- 町内で新たに事業を行う場合や既存事業者が新規事業を行う場合に、起業経費の一部を補助。
- 空き店舗を利用した場合には取得・賃貸に係る経費の一部も助成。



条例の制定

大樹町犯罪被害者等支援条例

目的 犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者やその家族、遺族に対する町の支援などを明確化し被害の回復や軽減を図り、再び平穏な日常生活を取り戻せるような地域社会の構築を目指す。

主な支援内容 金銭的支援、日常生活の支援、心身の支援、学校における支援、居住の支援、安全確保

大樹町中小企業・小規模企業振興基本条例

目的 中小企業・小規模企業の振興に関する基本理念を定め、中小企業等の振興を総合的に推進し、地域経済の持続的な発展と町民生活の向上に寄与する。

基本的な施策 経営の安定、経営基盤の整備、人材育成・確保・雇用の安定、事業承継の促進、新事業の創出・起業支援、資金調達の円滑化、支援・連携ネットワーク構築、情報収集・提供

令和6年
第1回
定例会

議案審議

3月5日～3月14日開催

予算審査特 令和6年

令和6年度当初予算

令和6年度
予算可決！

歳入歳出予算総額
一般会計 77億7,400万円
特別会計 18億5,570万円
企業会計 24億7,030万円
で承認しました。

会計区分(当初予算)		令和6年度
一般会計		77億7,400万円
特別会計	国民健康保険事業	6億4,000万円
	後期高齢者医療事業	1億1,190万円
	介護保険	6億6,740万円
	介護サービス事業	4億3,640万円
企業会計	水道事業	8億1,430万円
	病院事業	11億4,370万円
	下水道事業	5億1,230万円

\\ 知っておきたい令和6年度予算の主なもの //

北海道スペースポート整備事業
発注者支援業務・整備事業
8億8,000万円



町道改良舗装事業
調査設計・改良舗装工事
2億3,310万円



学校管理費
空調設備設置工事(小・中学校)
バリアフリー化改修工事(中学校)
1億8,041万9,000円



寿町団地建設事業
新築工事・外構工事(3号棟)
1億6,974万円



橋梁長寿命化事業
実施設計・補修工事
4,250万円



晩成温泉維持管理費
改修・解体工事実施設計
994万4,000円



算 審 査 特 別 委 員 会

委員11名で徹底審議！！

審議し、原案可決しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。



避難路となっている町道浜大樹線



築後66年が経過し老朽化が進む旧消防庁舎

防衛省の補助で浜大樹線の整備は可能か

問 杉森 俊行 委員

避難路となっている町道浜大樹線は道が悪いため自衛隊の補助金で整備できないか。

答 黒川町長

防衛省の補助を受けるには演習など防衛に使用している因果関係が必要。揚陸演習の再開時に自衛隊車両の交通量を測り補助対象となるか確認するが、現在は道道への早期昇格を要請している。

ゼロカーボン推進事業の早急なプラン作成を

問 寺嶋 誠一 委員

ゼロカーボン推進協議会のアドバイザーが4人に増強されている。専門的な知識を融合してCO₂削減目標達成に向けて、早急にプランを作るべき。

答 黒川町長

アドバイザーからは有効な意見をいただいている。地域資源の循環を軸に目標達成に向けて進めたい。

旧消防はいつまで車庫として使用するのか

問 西山 弘志 委員

旧消防庁舎はスクールバスの車庫として使用されているが、老朽化が進んでいる。いつまで使用するのか。

答 黒川町長

現時点で建て替えの予定はない。町有地の交換により譲渡される施設も活用しながら考えていきたい。

自主学級欠席時の料金の扱いを明記すべき

問 志民 和義 委員

広報たいきの記事で自主学級の料金は前払いで、欠席した場合も料金を支払う必要があることを明記すべきでは。

答 梅津社会教育課長

令和6年度以降は誤解のないような周知徹底を図るよう改善したい。

賛成
討論

吉岡 信弘 委員

本予算は第6期大樹町総合計画の理念を実現していくための予算が計上されている。財政の健全性も持続的な財政運営に配慮した姿勢が認められ、十分に評価できるものとする。よって、本案に賛成する。

一般
会計
予算

志民 和義 委員

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要で、住民の事情をよく知る町職員には解決する力が備わっていると考える。よって、本案に反対する。

反対
討論

賛成
討論

辻本 正雄 委員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務として、被保険者の身近な窓口業務が遂行されている。よって、本案に賛成する。

後期
高齢者
医療
特別
会計
予算

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。よって、本案に反対する。

反対
討論



菅 敏範 委員長

令和6年度予

3月11日～3月13日開催

令和6年度の一般会計・特別会計・企業会計の8会計の予算について



入学準備物の説明を受ける生徒と保護者



生ごみ処理機（写真は乾燥式）

中学校や高校の制服等取扱店の周知方法は

問 吉岡 信弘 委員

大樹中学校と大樹高校の制服や指定ジャージの取扱店が町内になくなり、保護者は不安だと思ふ。親切丁寧な周知案内が必要だと考えるが周知方法は。

答 沼田教育長

中学校は入学準備物の説明の場がある。学校側には丁寧な情報提供について説明を求めている。

町長の公約内容の予算が見えにくいのでは

問 播間 章浩 委員

町長就任後初めての予算であるが、公約に掲げた内容の予算が見えにくいのでは。

答 黒川町長

それぞれ動き出しているが、今回の予算は、公約実現に向けて十分な議論を進めていくための予算になっている。

利子補給金の対象金融機関を拡大しては

問 安田 清之 委員

中小企業・小規模企業振興基本条例の内容は。また、利子補給金の対象金融機関を拡大しては。

答 黒川町長

条例の内容は空き店舗や後継者不足の対策、融資の支援拡充などの総合的な中小規模事業者の振興策。利子補給交付総額の拡充や対象金融機関の拡大については商工会と協議して対応していきたい。

生活系生ごみ減量化等推進事業の内容は

問 西田 輝樹 委員

生活系生ごみ減量化等推進事業の内容は。

答 水津住民課長

コンポスター5千円を100基、電動生ごみ処理機5万円を50台分の予算。購入代の半額、上限5万円までを補助する。

生ごみ減量化等推進事業補助金の対象は

問 辻本 正雄 委員

生活系生ごみ減量化等推進事業の補助対象になる生ごみ処理機は、乾燥式やたい肥化、粉碎して下水に流すタイプ(ディスポーザー)など、すべてのタイプか。

答 水津住民課長

電動・手動どちらも対象。乾燥式や微生物の分解によりたい肥化するタイプは対象だが、粉碎して下水に流すタイプは対象外。

清掃活動等を行った子どもに図書券の配布を

問 船戸 健二 委員

ごみの削減、資源化に対する気持ちの醸成のために、資源ごみ回収や清掃活動に参加した子ども達に図書券を配布するなどしては。

答 黒川町長

子ども達にごみの削減や資源化の関心・知識を持ってもらうことは非常に大事だと思う。子ども会活動に対するPRは考えてみたい。

表決の分かれた議案

※菅委員長は表決に参加しません

議案名	播間章浩	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結果
令和6年度大樹町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決
令和6年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決

町民の声を町政に届ける

西山 弘志 議員 …………… P6

◎自然災害等防災対策の強化について

志民 和義 議員 …………… P7

◎精神障がい者の公共交通機関の利用に対する支援について

菅 敏範 議員 …………… P8

◎漁業の振興に対する実効性のある取組について
◎中学校部活動地域移行の進捗状況について（新年度の教育行政執行方針に対する質問）

播間 章浩 議員 …………… P7

◎町道浜大樹線の補修及び震災への備えについて
◎大樹高校公営塾の必要性について

寺嶋 誠一 議員 …………… P8

◎大樹町のDX化について

船戸 健二 議員 …………… P9

◎観光推進とオーバーツーリズム対策について

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。
年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

町の防災対策の強化と見直しの取組について

質問

答

地域で支えあう体制を進めたい



西山 弘志 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



ここが聞きたい！

一般質問

Q1 自然災害等防災対策の強化について

質問 浜大樹、旭浜への津波避難タワー整備の進捗状況について。

答（黒川町長） 浜大樹、旭両行政区の住民の意向を確認し、津波避難タワーの整備を進める。

令和6年度に防災計画の見直し、補助申請の手続きを行い、令和7年度以降に実施設計、建設を想定している。

質問 冬季の防災訓練、避難所宿泊体験訓練の実施について。

答（黒川町長） 避難訓練は、例年3月に浜大樹、旭行政区など8地区で実施している。子どもも参加できるように土日開催も地域と協議を進めている。また、避難タワーができればタワーを使用した避難訓練や宿泊体験なども検討する。

質問 自主防災組織と地域防災力の強化について。

答（黒川町長） 第6期総合計画の中で自主防災組織数を2団体から21団体に拡大する目標を定めている。核となる行政区を何地区かつくって広めていきたい。要支援者のリストは毎年確認しており、民生委員を中心に地域で支えあいながら支援する体制を進めたい。

質問 避難所と備蓄品の管理状況について。

答（黒川町長） 町内14施設を避難所として指定し、3日分の食料、飲料水や毛布などを備蓄している。

質問 WEB版のハザードマップ作成について。

答（吉田総務課長） 土地勘のない人でも自分の所在地、最寄りの避難所、避難経路が把握できるもの。費用対効果などを含め検討する。

質問 一日防災学校を実施して学んだ防災対策を家族で考える場が必要では。

答（沼田教育長） 家族で防災について日常的に話し合う場は非常に重要。先行事例など、調査研究をしながら学びの場、訓練の実施に向けて検討する。



播間 章浩 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

町道浜大樹線について

答

道道への昇格を要請している

Q1 町道浜大樹線の補修及び震災への備えについて

質問 大樹町では千島海溝を震源とする地震が近い将来に発生する可能性があると考えられている。避難道として町道浜大樹線の補修整備が必要では。

答 (黒川町長) 補修整備は、根本的な対策が必要で北海道に対して道道への昇格と昇格後の道路整備を要請している。それまでは引き続き状況を確認しながら補修を行う。

質問 防災無線の受信状況、避難所におけるプライバシー保護について。

答 (黒川町長) 防災無線の受信状況は定期的に試験電波を発信して通信確認を行っている。避難所ではパーテーションやテントなどプライバシーが守られるように準備している。

Q2 大樹高校公営塾の必要性について

質問 大樹高校では地域探究科を創設したが40名の定員に達していない状況。更なる大樹高校の魅力化の第一歩として、大樹高校生を対象とした公営塾の開設が必要と考えるが。

答 (黒川町長) ニーズが高まってきた場合に検討する。

質問 管内では足寄高校が公営塾を開設し、生徒が無償で通えることで、出願者の増加、大学進学率の向上など成果をあげているがその取組はどう考えるか。

答 (黒川町長) 成果をあげているのは承知しており、習うべきところはある。オンラインによる公営塾は検討する。

質問 大樹高校の魅力向上の取組で部活動や学校行事の充実があるが、部活動の指導など町職員の副業を解禁するべきでは。

答 (黒川町長) 町職員の副業解禁は前向きに進める。



志民 和義 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

精神障がい者へ交通費助成の拡充を

答

町村会を通じて要請を検討する

Q1 精神障がい者の公共交通機関の利用に対する支援について

質問 身体、知的障がい者には、公共交通機関の割引制度があるが、精神障がい者には一部を除き適用されていない。町の助成を拡充する考えは。

答 (黒川町長) 町では、重度身体障がい者などの交通費助成事業として、精神障害者福祉手帳1級の方を対象にタクシー利用券を年間15,000円分交付しており、現段階では、助成の拡充は考えていない。

質問 昨今、医薬の進歩により、精神障がいの症状の緩和が促されており、割引や助成などの支援を町村会を通じて公共交通機関、国へ要望しては。

答 (黒川町長) 精神障がい者の交通運賃に関する請願は、衆参両院で採択されており、交通事業者に対する国の要請を受けて運賃割引制度を導入する事業者が年々増加しているが、制度の導入は事業者の自主的判断によるもので、減収分は他の利用者の負担となるため、導入に至らない事業者もある。

国では、今後も精神障がい者に対する運賃割引の導入を交通事業者などに理解と協力を求めていくとしており、国の動向を確認して機会があれば町村会を通じて要請を検討する。



寺嶋 誠一 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



午前



午後

窓口でのデジタル化は進んでいるか

質問

答

28項目のオンライン申請が可能

答（黒川町長） 町では、急速なデジタル化の進展により生じる情報格差の広がりを少しでも解消するため、講習会などの取組を進める。

質問 DXによる地域活性化に向けた町民の理解醸成について。

答（黒川町長） 建設水道課では、現場の状況確認でタブレット端末を活用している。携帯電話などの移动通信システムの高速大容量化が進み、災害の発生やクマ目撃の位置情報など各種業務で大きな効果が期待できる。

質問 SNSなどを活用した位置情報や現場状況の把握による業務の効率化について。

答（黒川町長） 二次元コードは、観光マップの作製、イベントのアンケート調査にも活用しており、利用者の利便性も含めて有効な手段。ペーパーレス化は、役場内部で取組を進めている。

質問 二次元コード活用とペーパーレス化について。

答（黒川町長） 昨年4月から、マイナンバーカードによる児童手当の認定請求など28の手続きでオンライン申請が可能となり、住民票やパスポートの更新手続きなどのサービスを提供している。
2月下旬から町の情報発信ツールとして新たにLINE Eを活用し、暮らしに役立つ情報や緊急情報などの配信サービスを開始した。

質問 行政業務のデジタル化とマイナンバーカード、SNSを活用した行政サービスの状況について。

Q1 大樹町のDX化について

漁業の厳しい環境改善の具体策は

質問

答

旭浜漁港の養殖機能の整備・強化を協議



記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



菅 敏範 議員

答（沼田教育長） 昨年5月に地域連携推進協議会を立ち上げ、小中高校生・保護者・教職員にアンケート調査を実施。地域移行後の運営形態と指導者の確保、財政措置や小中高の連携などは今後、推進協議会で検討する。

質問 中学校部活動地域移行に向け、運営形態、指導者確保、財政措置など現時点における進捗状況は。

答（黒川町長） 海洋に流出したプラごみや流木などの堆積で沿岸漁場の環境が変化している。漁業関係者が漁場環境の改善のため、漁場耕運や清掃活動を実施しているが、町としても清掃活動を検討する。

質問 プラごみの海洋汚染や流木対策など、漁場の環境改善の取組が重要。前浜の清掃活動を町ぐるみで行う考えは。

答（黒川町長） 大樹漁協では、秋さけの船上活締めや新巻さけの切り身の販売、漁獲量が増えている「ぶり」などの加工を検討。町として加工事業の支援を検討したい。

質問 新たな魚種の加工事業に対する支援の考えは。

答（黒川町長） 令和2年度から大樹サクラマス養殖事業化研究会が海面養殖試験に取り組んでいる。現在、漁業者や北海道、大樹漁協と旭浜漁港の養殖機能の整備・強化の協議を進めている。将来的には漁港施設を核とした大規模な養殖・栽培漁業の可能性を検討する。

質問 秋さけ定置網漁は極端な不漁が続ぎ、大樹漁協の安定経営は厳しく、漁業者の生活不安も深刻。漁業者が将来の漁業に安心と希望を持てる環境づくりのために、大規模な養殖栽培事業を実施する考えは。

Q1 漁業の振興に対する実効性のある取組について



船戸 健二 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

オーバーツーリズム対策の徹底を

答

関係機関と連携して強化する

Q1 観光推進とオーバーツーリズム対策について

質問 過去のロケット打ち上げ時のオーバーツーリズムの発生と対応状況について。

答 (黒川町長) これまで開催してきた「スペースフェスタ」では、高規格道路の降り口付近で若干の渋滞はあったが、オーバーツーリズムにあたる事案の発生はなかった。

質問 多目的航空公園付近では、路肩や畑、林道の取り付け道路に駐車している車両があり、地域住民とのトラブルや交通事故が懸念される。今後、ロケットの打ち上げや関連イベントの際には、イベントの広報と合わせて注意事項の周知を徹底しては。

答 (菅企画商工課参事) 事前の周知徹底は重要。広尾警察署など関係機関と連携して見回りを強化する。

現在、北海道スペースポートは、町の指定管理者のSPACE COTAN株式会社が管理しているため、今後は民間のノウハウを活かし対応する。

質問 ごみのポイ捨てやトイレの対応は。

答 (黒川町長) ごみはすべて持ち帰ることを事前に告知し、当日に来場された方にもチラシを配布して周知した。トイレは、宇宙交流センターSORAや仮設トイレを20基設置して対応した。今後は移動トイレ車なども検討する。

YouTubeで議会中継をご覧いただけます!

本会議や予算・決算審査特別委員会はライブ中継しています。ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会を傍聴できますので、ぜひご利用ください。大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会チャンネル



次の定例会は6月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

日程は町ホームページでお知らせします

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

議会のペーパーレス化に向けて

令和6年度予算審査特別委員会では、将来的な議会のペーパーレス化に向けて、試験的に職員のパソコンの使用を認めました。今後も推進していく予定です。



令和5年
第5回
臨時会

議案審議

12月25日開催

第6期大樹町総合
計画基本構想や
補正予算など
7件を審議!!

第6期大樹町総合計画基本構想を可決

令和6年度から15年度までの「10年間のまちづくりの指針」となる第6期大樹町総合計画の基本構想を、全会一致で可決しました。

将来像 「人とひと・人と自然・人と宇宙がつながる誰にでも居場所のあるまち大樹」

将来像の実現に向けた施策の基本目標と設定項目

1. 「共に支え合い安心して暮らせるまち」
…安心・安全につながる福祉、子育て、保健・医療、防災など
2. 「誰もが学び続けられるまち」
…小学校から高校までの学校教育、社会教育、スポーツ、文化など
3. 「豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち」
…まちの活力の源となる農林水産業、商工業、観光、航空宇宙など
4. 「美しい自然と共生する持続可能なまち」
…住民生活に直結する環境、脱炭素、ごみ、上下水道、道路、公園など
5. 「地域共創やデジタル化が進むまち」
…地域のコミュニティ、移住定住、デジタル化、行財政など

SDGsの視点を
取り入れ、持続可能な
まちづくりを
進めます!



質疑と答弁

問 パブリックコメントによって素案から変更した点はあったのか。

答 直接修正として反映したものはないが、いただいた意見は今後の事業推進の参考とさせていただきます。

問 計画の進捗状況や評価は、どのような形で町民に示されるのか。

答 進捗状況を点検・評価する町民参画の組織を立ち上げ協議し、結果を広報紙やホームページ等で公表したい。

問 将来像は宇宙をメインと考えているのか。農業などの産業の表現が必要では。

答 一次産業は基幹産業として揺るぎないもの。将来像は特出すべき部分をピックアップしている。

令和6年
第1回
臨時会

議案審議

2月2日開催

補正予算や
契約事項の変更など
3件を審議!!

一般会計予算 **1億373万6,000円** を追加補正

(主なもの)

町道・公共施設の除排雪費用を増額

町有地・建物維持管理経費

町道維持管理事業

予算の不足が見込まれることから、増額補正。



一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

令和5年 第5回臨時会	第6期大樹町総合計画基本構想の策定 策定審議会での審議を終えた第6期大樹町総合計画基本構想を可決。	原案可決
	大樹町手数料徴収条例の一部改正 戸籍法の一部を改正する法律の公布等に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町国民健康保険税条例の一部改正 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出それぞれ313万6千円を追加。	原案可決
	令和5年度国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ9万円を追加。	原案可決
	令和5年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号） 資本的収入を190万円追加。資本的支出を192万円追加。	原案可決
令和6年 第1回臨時会	財産の取得 多目的航空公園の滑走路延伸に伴う管理用地として山林を取得。	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第8号） 歳入歳出それぞれ1億373万6千円を追加。	原案可決
	令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号） 特別養護老人ホーム運営事業1,543万5千円を令和6年度に繰越するため繰越明許費1,543万5千円を追加。	原案可決
令和6年 第1回定例会	建設工事請負契約事項の変更 北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、LC-1射場・滑走路延伸詳細設計及びLC-1射場土木工事請負契約事項の契約金額を6億3,965万円から6億2,682万4千円に変更。	原案可決
	大樹町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定 地方自治法の改正により、議員の個人による請負の状況の透明性を確保するため条例を制定。	原案可決
	大樹町公平委員会委員の選任 委員に高野静子氏、大庭滋理氏、尾藤宏樹氏を再任することに同意。	同意
	大樹町犯罪被害者等支援条例の制定 犯罪被害者等が受けた被害の回復や軽減を図り、安全・安心な地域社会の構築を目指すため条例を制定。	原案可決
	大樹町工場立地法に基づく準則を定める条例の制定 適正な環境保全と工場立地推進のため、環境施設面積と緑地面積の割合の規制を緩和する条例を制定。	原案可決
	大樹町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定 中小企業等の成長や発展、地域経済の活性化のため、中小企業等の振興を総合的に推進する条例を制定。	原案可決
	大樹町監査委員条例の一部改正 地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 大樹町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため関連する条例の一部改正。	原案可決
	大樹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町介護保険条例の一部改正 第9期介護保険事業計画の策定に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 水道法の一部改正を含む法律の制定に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町過疎地域持続的発展市町村計画の変更 町の持続的発展のため新たに実施を計画する事業の追加に伴う計画変更。	原案可決
	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 晩成温泉関連施設や美成7号線の整備のための計画変更。	原案可決
	公の施設の利用に関する協議 南十勝子ども発達支援センターの幕別町の共同利用終了に伴う、4月からの4町村による運営についての協議。	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第9号） 歳入歳出それぞれ5億1,788万3千円を追加。	原案可決

令和6年第1回定例会	令和5年度国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ5,448万7千円を追加。	原案可決
	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ125万8千円を減額。	原案可決
	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1,599万2千円を減額。	原案可決
	令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ1,362万円を減額。	原案可決
	令和5年度水道事業会計補正予算（第4号） 収益的収入を4,511万円追加、収益的支出を5,718万9千円追加。 資本的収入を7,741万4千円減額、資本的支出を1億6,152万2千円減額。	原案可決
	令和5年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第5号） 収益的収入・支出を3,925万4千円減額。資本的収入を49万5千円減額、資本的支出を52万1千円減額。	原案可決
	令和5年度下水道事業会計補正予算（第4号） 収益的収入を1,329万8千円減額、収益的支出を1,222万7千円減額。 資本的収入を1,167万8千円減額、資本的支出を1,956万5千円減額。	原案可決
	財産の取得 Point! 予定価格700万円以上の財産の取得は議会の議決が必要です！ 介護ロボット導入支援事業費補助金により、見守り支援システム機器一式（50台ほか）を1,030万円で取得。	原案可決
	令和6年度一般会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ77億7,400万円とする。	原案可決
	令和6年度国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億4千万円とする。	原案可決
	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億1,190万円とする。	原案可決
	令和6年度介護保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億6,740万円とする。	原案可決
	令和6年度介護サービス事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億3,640万円とする。	原案可決
	令和6年度水道事業会計予算 収益的収入を4億7,378万7千円、収益的支出を4億8,670万1千円とする。 資本的収入を1億6,017万9千円、資本的支出を3億2,759万9千円とする。	原案可決
	令和6年度町立国民健康保険病院事業会計予算 収益的収入・支出をそれぞれ10億9,303万円とする。 資本的収入を4,932万円、資本的支出を5,067万円とする。	原案可決
	令和6年度下水道事業会計予算 収益的収入を3億4,223万5千円、収益的支出を3億2,404万8千円とする。 資本的収入を6,478万6千円、資本的支出を1億8,825万2千円とする。	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第10号） 道路や公共施設等の除排雪費用2,820万円と介護サービス事業特別会計への繰出金180万円を追加（財源組替）。	原案可決
	令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ180万円を追加。	原案可決

広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩
副委員長 船戸 健二
委員 西岡 敏範
委員 菅山 弘志
委員 吉岡 誠一
委員 寺嶋 誠一

編集後記

1月1日に能登半島地震が発生しました。犠牲者と被災者の皆さまにお悔やみとお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を願っております。

大樹町は防災対策の一つとして浜大樹・旭浜に津波避難タワーの建設を決めました。タワーを含め避難所の設営や備蓄品の選定では積極的に女性の意見をとり入れることを望みます。また、今後は災害発生後の対応や復旧を想定した検討も必要であると感じております。

委員 吉岡 信弘